

令和6年度 学校評価結果

1.令和6年度 自己点検・自己評価結果

- 1)実施時期： 令和7年2月～3月
- 2)対象者 ： 教職員12名
- 3)評価基準： 3 当てはまる 2 やや当てはまる 1 当てはまらない
- 4) 結果
- 全ての項目で評価が上がった。

評価項目	評価
I 教育理念・教育目的	2.92
II 教育課程・教育活動	2.83
III 入学・卒業対策	2.76
IV管理運営・財政	2.87
V 施設設備	2.89
VI教職員の育成	2.85
VII広報	2.83
VIII地域との連携	2.25

I 教育理念・教育目的	JA福島厚生連の理念に基づき、地域に貢献する人材育成を目指す内容になっている。新カリキュラムになり3年が経過し、学生にも浸透してきている。今後も本校の特徴を踏まえた教育理念、教育目標について日頃から学生たちへの意識づけを行っていく。
II 教育課程・教育活動	今年度、全学年が新カリキュラムとなったため、カリキュラムの評価を実施した。また、学習支援担当別に学生個々の指導を実施することで、学力の向上につながっている。
III 入学・卒業対策	今年度入学生は定員の7割であった。18歳人口の減少や医療従事者の職種の多様化等により、今後も学生確保が困難な状況が予測されるため、学生確保対策としての新たな広報活動、学校運営方法を実施していく。国家試験対策では、個別指導や教職員による直前ゼミナールを実施し学生の学力向上に努めた。卒業生に対する支援としてカムバックデイや母体病院との新人看護職員支援を実施し離職防止に努めた。今後も継続していく。
IV管理運営・財政	会議や教員の研修、教科外活動など、予算計画、年間計画に沿って運営することができた。一人の教員がもつ業務が多いため、引き続き業務の効率化及び業務整理に取り組んでいく。
V 施設設備	整備が必要な箇所が数か所あるが、随時施設設備担当者および業者と対応している。
VI教職員の育成	教員の看護実践力向上を目的に関連病院及び施設において現場研修を実施した。また、専任教員リーダーに基づき授業参観や公開授業を計画的に実施した。研究活動については、6割の教員が取り組むことができている。次年度は、研究に取り組む時間の確保を課題とし、支援していく。
VII広報	ホームページの更新や学院だよりの発行、進路説明会は、計画に沿って実施した。学院だよりの活用及び高校生への情報発信方法については、今後検討が必要である。学生募集については、高校訪問の回数を増やし新たに新聞折込広告を取り入れた。次年度も継続して実施する。また、将来の看護職確保対策及び地域住民に本校の理解を得るために本校独自の事業としてKidsNurseを開催した。
VIII地域との連携	中学校や保育園の研修会に複数の教員を講師として派遣した。また、昨年度から実施している地域の小学生を対象とした看護師の仕事体験の他、今年度初めての試みとして小学校において開催された仕事体験に出展した。学生は、JA祭りや白河関祭りなど地域の行事に参加し、ボランティア活動も行った。国際交流として、海外からの留学生の受け入れ体制は整っていない。国際的視野を広める授業については、海外での活動の経験がある看護師による授業を設け、実際の映像や体験談を聴くことで国際看護、災害看護に対する関心を高める機会になった。